

平成30年度 未来都市創造に関する特別委員会 活動状況報告（案）

未来都市創造に関する特別委員会の活動状況について、ご報告申し上げます。

本委員会は、神戸の未来都市創造に向けて、議会として政策提言を行うことを目指し、平成26年度に設置されました。以来、神戸独自の魅力の創出や、神戸らしいまちづくりという観点で、三宮周辺・ウォーターフロント地区における都心の再生や市街地西部地域の活性化の取り組みについて調査してまいりました。

特に30年度は、三宮再整備事業の進捗に伴い、新たな課題が浮かび上がってきたことから、都心・三宮周辺地区を中心に精力的に調査・議論を行い、議会の立場から提言を行うことを目指して審議を行ってまいりました。

委員会では、当局からの報告聴取に加え、テーマを定めて参考人を招致し、意見聴取及び意見交換を行うとともに、他都市の先進事例についても調査を行いました。

参考人招致では、まず「大都市ターミナル駅周辺のまちづくり」について、大阪市立大学大学院工学研究科教授の^{かなこういち}嘉名光市氏を参考人に迎え、駅周辺を再整備する意義・効果について意見聴取を行いました。国内外の様々な取り組み事例を参考にしながら、都市の「顔」である駅周辺のまちづくりに求められるポイントについて、意見交換や討議がなされました。

次に、「エリアマネジメントによる街づくり」について、三菱地所株式会社開発推進部エリアマネジメント推進室長 兼 特定非営利活動法人大丸有エリアマネジメント協会事務局長の^{ふじいひろあき}藤井宏章氏を参考人に迎え、大手町・丸の内・有楽町地区における先進事例などについて意見聴取を行いました。地域特性を重視し、地域価値を高めるまちづくりの手法として現在各地で導入が進められているエリ

アマネジメントについて、取り組みの意義や導入のポイント、課題などを中心に、意見交換や討議がなされました。

その後、新神戸文化ホールの整備のあり方や、三宮再整備後のまちづくりの進め方について考察を深めるため、他都市の先進事例について調査を行いました。東京都文京区では、複合施設内で運営される文京シビックホールについて、千葉県柏市では、公民学連携のまちづくりを实践する柏の葉アーバンデザインセンターの取り組みについて、東京都千代田区ではエリアマネジメントの様々な実践事例について、説明聴取や実地視察を行いました。

これらの調査活動を踏まえ、委員間討議を重ねた結果、お手元にお配りしております提言書「未来都市神戸の創造に向けて」を取りまとめました。この提言書は、全19項目を「都心・三宮周辺地区の再整備に関する提言」と、「広く神戸の未来に関する提言」の二つに大別してまとめ、後ほど市長に提出する予定であります。

以上、委員会の活動状況についてご報告を申し上げましたが、当局におかれては、このたびの提言書はもとより、26年度の提言書やこれまで委員会において各委員から述べられた意見・要望などを十分に踏まえ、輝ける未来都市の創造に向けてさらに取り組みを進めていかれるよう要望し、委員長報告といたします。